

2026/02/26 現在 *最新版は随時学会 HP に掲載されます

日本社会関係学会公式サイト:<https://jasrweb.main.jp/>

学会事務局:jasrsec@gmail.com

JASR2026 日本社会関係学会第6回研究大会プログラム

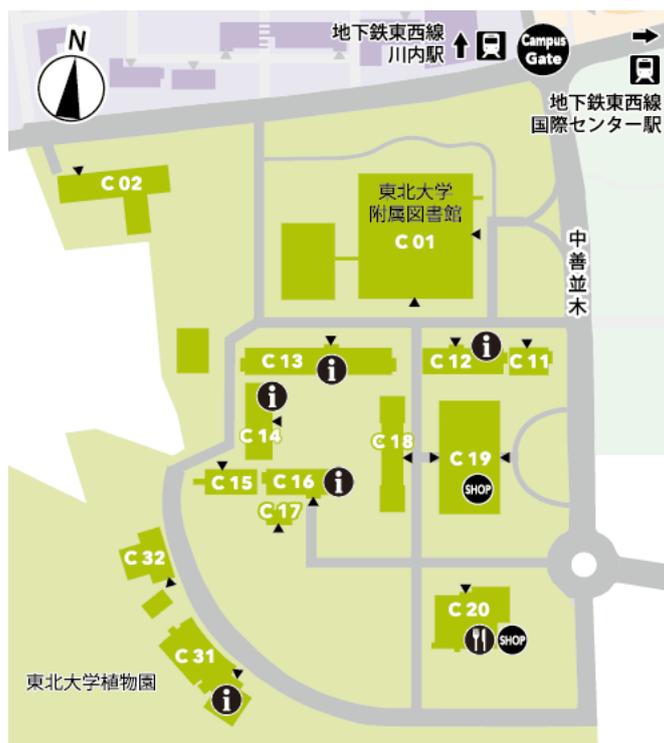
主催:日本社会関係学会

【開催日】2026年3月21日(土)・22日(日)

【会場】東北大学川内南キャンパス(宮城県仙台市青葉区川内 27-1)

文科系総合講義棟1階(受付・懇親会)、同2階(シンポジウム・分科会・パネル・チュートリアル・ポスター)

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/kawauchi/areac.html> (C19 2階建)



【会場最寄り駅】川内駅、国際センター駅

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/access>

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/kawauchi>

1日目:3月21日(土) 09:30 受付開始 @文科系総合講義棟1階

Aセッション(10:00~11:30)			
A-1	分科会(研究報告)	<p>【NPO・コモンズと社会経済の新展開】@文科系総合講義棟2階法学部第1小講義室</p> <p>① 川西諭(上智大学)「コロナ禍の影響と NPO コミュニティの役割:オンラインアンケート調査データによる検証」</p> <p>② 李 妍焱(駒澤大学)「ボトムアップの社会づくりを可視化する新たなレンズ:市民的コモンズ概念の可能性」</p> <p>③ 稲葉陽二(ソーシャル・キャピタル研究会)「限界費用ゼロ社会のパラドックス:リフキンの予言と2025年の現実に関する包括的評価」</p>	<p>モデレータ=菊池遼(日本福祉大学)</p> <p>討論者=佐藤嘉倫(京都先端科学大学)</p>
A-2	チュートリアル	<p>【Coming Soon】@文科系総合講義棟2階経済学部第2小講義室</p> <p>企画=佐藤勝典(香川大学)</p>	
A-3	分科会(研究報告)	<p>【ウェルビーイングと健康・生活世界】@文科系総合講義棟2階経済学部第3小講義室</p> <p>① 井手一茂(千葉大学予防医学センター)「千葉県松戸市の高齢者におけるグリーンスローモビリティ利用と社会的サポート・外出・うつ」*共同報告者:塩谷竜之介(日本老年学的評価研究機構)、小林周平(千葉大学予防医学センター)、前田梨沙(日本老年学的評価研究機構)、近藤克則(千葉大学予防医学センター)</p> <p>② 齊藤祐輔(宮城大学)「移動と没入による若者のアイデンティティ形成とウェルビーイングの関連:東日本大震災後の宮城県気仙沼市への移住者を対象とした質的研究」*共同報告者:中沢峻(宮城大学)、友渕貴之(宮城大学)、佐々木秀之(宮城大学)、岡田彩(東北大学)</p> <p>③ 上西智子(東北大学)「社会イノベーターとして働く人々の健康づくりとウェルビーイング:社会的企業の事例より」*共同報告者:西出優子(東北大学)</p>	<p>モデレータ=白井こころ(大阪大学)</p> <p>討論者=中尾公一(金沢星稜大学)</p>

昼食休憩(11:30~12:30)	
<p>【ポスター発表】(11:30~12:30) @文科系総合講義棟2階ロビー</p> <p>*3月21日・22日両日展示、報告者が可能な日に口頭発表をおこなう。</p> <p>① 森裕樹(東京都健康長寿医療センター研究所)「都市部居住者を対象としたストレッチプログラムの実施と評価」*共同報告者:城實佳也(東京都健康長寿医療センター研究所)・清野諭(東京都健康長寿医療センター研究所/山形大学 Well-Being 研究所)・小林江里香(東京都健康長寿医療センター研究所)</p> <p>② 清藤春香(津田塾大学学芸学部多文化・国際協力学科)「インターセクショナルな社会関係資本の形成メカニズム:「信頼の範囲」による検討」</p> <p>③ 大橋ふみな(みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社)「市民との共生社会を築き支える立役者の実態:府中市友好都市交流から見えるもの」</p>	

- ④ 許晟源(東北大学)「被災地農業サポートにおけるボランティア参加動機: 語りの分析」* 共同報告者: 周 玉琴(東北大学)、張 羽欣(東北大学)
- ⑤ 島津里彩(神戸大学)「日本の ASD 当事者の社会的つながりの経験は、社会的処方とどのように対応しうるか」* 共同報告者: 嵐大樹(奈良県立医科大学)、石井大智(東京科学大学)、樋口拓也(京都大学)、平澤若菜(北海道大学)、長崎勝信(慶應義塾大学)、榊原孝一(Drexel University)、秤谷隼世(University of Tuebingen)
- ⑥ 加藤由花(東北大学)「サードセクターによる社会関係資本の生成・形成のマネジメント」
- ⑦ 金澤つき美(大阪大学)「非正規教員の増加に関する実証分析」
- ⑧ 大坂紫(株式会社インテージリサーチ)「NPO の信頼性に対する市民認識と透明性評価: 3年間の市民意識トレンド分析」* 共同報告者: 猪俣加菜子(日本非営利組織評価センター)、瀬上倫弘(日本非営利組織評価センター)
- ⑨ 小林周平(千葉大学予防医学センター)「自然と健康になるまちづくりを目指すヨーグルトで街にミライをプロジェクトの活動報告」* 共同報告者: 井手一茂(千葉大学予防医学センター)・竹内寛貴(千葉大学予防医学センター)・中込敦士(千葉大学予防医学センター)

B セッション(12:30~14:00)			
B-1	分科会(研究報告)	<p>【祭礼・観光 NPO と地域社会のソーシャル・キャピタル】文科系総合講義棟2階 法学部第1小講義室</p> <p>① 中川尋史(昭和女子大学)「日本神輿協会における共感資本と組織運営: 会長付理事としての参与観察から」</p> <p>② 中尾公一(金沢星稜大学)「条件不利地域の観光 NPO 等はどうのようにして資源制約を乗り越えたのか: ソーシャル・プリコラージュとソーシャル・キャピタルの視点からの分析」</p> <p>③ 稲葉陽二(ソーシャル・キャピタル研究会)「社会関係資本・関係流動性・関係人口・都市祭礼・社会疫学の統合的研究: 人口減少時代のまちづくりに向けた理論的再構築」</p>	<p>モデレータ = 佐藤勝典(香川大学)</p> <p>討論者 = 秋池篤(東北大学)</p>
B-2	分科会(研究報告)	<p>【社会的企業・多様性と国際比較】@ 文科系総合講義棟2階経済学部第2小講義室</p> <p>① 和田茂憲(東北大学) "Public Procurement by U.S. Forces Japan for the AbilityOne Program and Nonprofits" * 共同報告者: 西出優子(東北大学)、Cory Pringle(東北大学)</p> <p>② 朴 賢淑(東北大学)「社会的企業とマイノリティ: 韓国における社会関係資本の実証的考察」</p> <p>③ 閻 亜光(東北大学)「ダイバーシティ・マネジメント概念の構造分析: 日本語文献及び英語文献の比較研究を通して」* 共同報告者: Mao Wenye(東北大学)</p>	<p>モデレータ = 國見真理子(田園調布学園大学)</p> <p>討論者 = 中嶋貴子(大阪商業大学)</p>

2026/02/26 現在 *最新版は随時学会 HP に掲載されます

日本社会関係学会公式サイト: <https://jasrweb.main.jp/>

学会事務局: jasrsec@gmail.com

B-3	分科会(研究報告)	【就労・キャリアとウェルビーイング】@文科系総合講義棟2階経済学部第3小講義室 ① 高橋保幸(宮城県)「シニア人材のキャリア発達:定年退職後市民活動を行うタイプの発達プロセスに着目して」 ② 高橋勇介(愛媛大学)「雇用形態別にみた労働者の主観的幸福感の諸要因について」 ③ 長谷川遥(東北大学)「地域若者サポートステーションの比較から見る就労支援事業の意義と課題」*共同報告者:大吹哲也(東北大学)	モデレータ＝ 小野晶子(労働政策研究・研修機構) 討論者＝本田恒平(立教大学)
-----	-----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------

公開シンポジウム(14:30～17:30)@文科系総合講義棟2階経済学部第1講義室

*この部分は無料一般公開されます

【テーマ】「復興のこれまでとこれから:ウェルビーイングと未来社会のデザイン」

【概要】東日本大震災から15年を迎える2026年。復興のこれまでを振り返り、これからの未来社会について考える重要な節目を迎えます。本シンポジウムでは、復興の最前線で活動してきた専門家・実務家が、地域コミュニティの再生、社会的つながりの再構築、次世代の担い手、市民的コモンズ、ウェルビーイングなど、多様な視点から復興の意義と課題・未来社会への展望を議論します。

【登壇者】

基調講演:増田聡氏(帝京大学教授/東北大学名誉教授)

パネリスト:李妍焱氏(駒澤大学教授)、久保田彩乃氏(一般社団法人ヴォイス・オブ・フクシマ代表理事)、齊藤祐輔氏(認定特定非営利活動法人底上げ副理事長)

懇親会および表彰式(17:45～19:30)@文科系総合講義棟1階コモンスペース

表彰式:第5回研究大会研究報告賞・第4回日本社会関係学会賞

2日目: 3月22日(日) 09:30 受付開始@文科系総合講義棟1階

Cセッション(10:00~11:30)			
C-1	分科会(パネル)	<p>「ソーシャル・キャピタル研究の最新動向とインパクト」@文科系総合講義棟2階 法学部第1小講義室</p> <p>✓ 応募代表者: 露口健司(愛媛大学)</p> <p>✓ 共同パネリスト: 稲葉陽二(ソーシャル・キャピタル研究会), 村山洋史(東京都健康長寿医療センター研究所), 要藤正任(京都産業大学), 戸川和成(千葉商科大学), 芳賀道匡(静岡福祉大学)</p>	モデレータ= 露口健司(愛媛大学)
C-2	チュートリアル(若手セミナー)	<p>「大学院サバイバルと就職についての座談会: 若手研究者の経験と今からできること」@文科系総合講義棟2階経済学部第2小講義室</p> <p>① 本田恒平(立教大学)「大学院サバイバルから博論本出版までの戦略と実践」</p> <p>② 菊池遼(日本福祉大学)「研究テーマの選び方」</p>	
C-3	分科会(研究報告・英語セッション)	<p>【Nonprofits, Knowledge and Social Enterprises(英語セッション)】@文科系総合講義棟2階経済学部第3小講義室</p> <p>① Kevalin Puangyoykeaw Setthakorn (Thammasat Business School) "The Policy-Practice Gap: How Institutional Frameworks Constrain Social Enterprises" * 共同報告者: Yuko Nishide(東北大学), Seong Young Kim (Rennes School of Business)</p> <p>② Mao Wenye (東北大学) "Constructing Meaning and Identity Through Nonprofit Internships: A Sensemaking Perspective"</p> <p>③ Rashed Al Jayousi(東北大学) "Resilience through knowledge: insights into knowledge sharing in Palestinian NGOs"</p>	<p>モデレータ= Margaret Adesawa (東北大学)</p> <p>討論者= Chi Nghia Nguyen (東北大学)</p>

昼食休憩(11:30~12:30)	
<p>【ポスター発表】(11:30~12:30) @文科系総合講義棟2階ロビー</p> <p>* 3月21日・22日両日展示、報告者が可能な日に口頭発表をおこなう。</p> <p>① 森裕樹(東京都健康長寿医療センター研究所)「都市部居住者を対象としたストレッチプログラムの実施と評価」* 共同報告者: 城實佳也(東京都健康長寿医療センター研究所)・清野諭(東京都健康長寿医療センター研究所/山形大学 Well-Being 研究所)・小林江里香(東京都健康長寿医療センター研究所)</p> <p>② 清藤春香(津田塾大学学芸学部多文化・国際協力学科)「インターセクショナルな社会関係資本の形成メカニズム: 「信頼の範囲」による検討」</p> <p>③ 大橋ふみな(みずほりサーチ&テクノロジー株式会社)「市民との共生社会を築き支える立役者の実態: 府中市友好都市交流から見えるもの」</p> <p>④ 許晟源(東北大学)「被災地農業サポートにおけるボランティア参加動機: 語りの分析」* 共同報告者: 周玉琴(東北大学)、張羽欣(東北大学)</p> <p>⑤ 島津里彩(神戸大学)「日本の ASD 当事者の社会的つながりの経験は、社会的処方とどのように対応しうるか」* 共同報告者: 嵐大樹(奈良県立医科大学)、石井大智(東京科学大学)、樋口拓也(京都大学)、平澤若菜(北海道大学)、</p>	

2026/02/26 現在 *最新版は随時学会 HP に掲載されます

日本社会関係学会公式サイト: <https://jasrweb.main.jp/>

学会事務局: jasrsec@gmail.com

<p>長崎勝信(慶應義塾大学)、榊原孝一(Drexel University)、秤谷隼世(University of Tuebingen)</p> <p>⑥ 加藤由花(東北大学)「サードセクターによる社会関係資本の生成・形成のマネジメント」</p> <p>⑦ 金澤つき美(大阪大学)「非正規教員の増加に関する実証分析」</p> <p>⑧ 大坂紫(株式会社インテージリサーチ)「NPO の信頼性に対する市民認識と透明性評価:3年間の市民意識トレンド分析」*共同報告者:猪俣加菜子(日本非営利組織評価センター)、瀬上倫弘(日本非営利組織評価センター)</p> <p>⑨ 小林周平(千葉大学予防医学センター)「自然と健康になるまちづくりを目指すヨーグルトで街にミライをプロジェクトの活動報告」*共同報告者:井手一茂・(千葉大学予防医学センター)竹内寛貴(千葉大学予防医学センター)・中込敦士(千葉大学予防医学センター)</p>

D セッション(12:30~14:00)			
D-1	分科会(パネル)	<p>「ソーシャル・キャピタルの機能論で解く複雑な社会問題」@文科系総合講義棟2階法学部第1小講義室</p> <p>✓ 応募代表者:露口健司(愛媛大学)</p> <p>✓ 共同パネリスト:稲葉陽二(ソーシャル・キャピタル研究会)、要藤正任(京都産業大学)、村山洋史(東京都健康長寿医療センター研究所)、戸川和成(千葉商科大学)、芳賀道匡(静岡福祉大学)</p>	モデレータ=要藤正任(京都産業大学)
D-2	分科会(パネル)	<p>「災害復興と持続可能なまちづくり:ツーリズムの視点から」@文科系総合講義棟2階経済学部第2小講義室</p> <p>✓ 応募代表者:西出優子(東北大学)</p> <p>✓ 共同パネリスト:稲葉雅子(株式会社たびむすび/東北大学)、閻 亜光(東北大学)、大久保朝江(認定 NPO 法人杜の伝言板ゆるる)、大吹哲也(東北大学)、中嶋紀世生(宮城大学/東北大学)</p>	モデレータ=西出優子(東北大学)
D-3	分科会(研究報告)	<p>【ソーシャル・キャピタル・メディアと主観的ウェルビーイング】@文科系総合講義棟2階経済学部第3小講義室</p> <p>① 河越正明(日本大学)「社会課題解決に役立つメディアは何か?:潜在クラス分析による外部効果内部化の検討」</p> <p>② 関根仁博(京都大学)「人間関係の重要性はソーシャル・キャピタルと主観的ウェルビーイングの関係を調整するのか」</p>	<p>モデレータ=久保田彩乃(福島大学)</p> <p>討論者=小川 顕正(新潟大学)</p>

会員総会(14:10~14:40)@文科系総合講義棟2階経済学部第3小講義室

【日本社会関係学会第6回研究大会運営委員会】

- ・ 委員長:西出優子
- ・ 開催校委員:岡田彩/Chi Nghia Nguyen/閻亜光/大吹哲也/峯村遥香/Dansu Margaret Adesewa/Rashed Nedal Rashed Al Jayousi
- ・ プログラム委員:佐藤勝典/菊池遼/相田潤/白井こころ/本田恒平/立福家徳/小川顕正
- ・ 事務局:近藤克則(会長)/河越正明(副会長)/小野晶子(副会長)/立福家徳(事務局長)/小川顕正(副事務)

2026/02/26 現在 *最新版は随時学会 HP に掲載されます

日本社会関係学会公式サイト:<https://jasrweb.main.jp/>

学会事務局:jasrsec@gmail.com

局長)／梅原あすな／石岡まどか

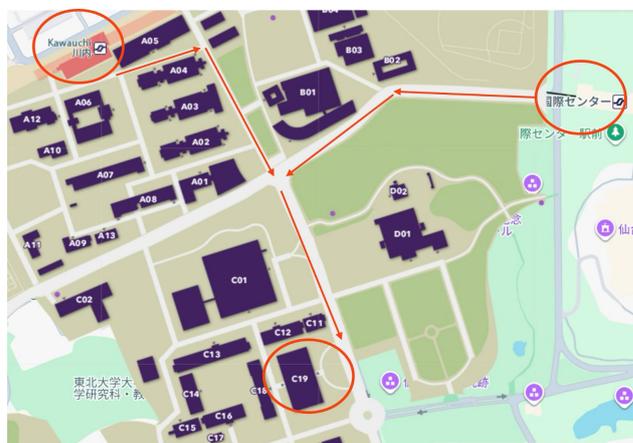
*掲載情報に誤りがある場合、学会事務局 (jasrsec@gmail.com) までお知らせください。

日本社会関係学会第6回研究大会 会場案内

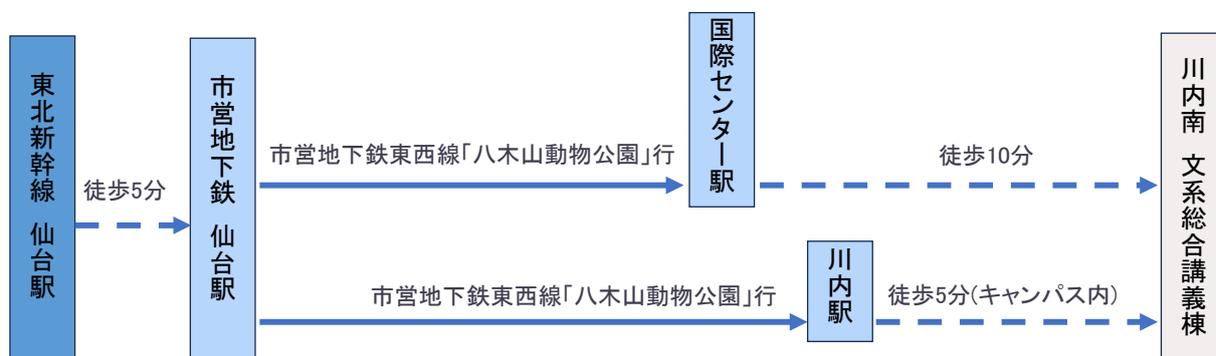
会場

東北大学 川内南キャンパス
文科系総合講義棟(C19)

〒980-0862 宮城県仙台市青葉区川内27



アクセス



Wi-Fi

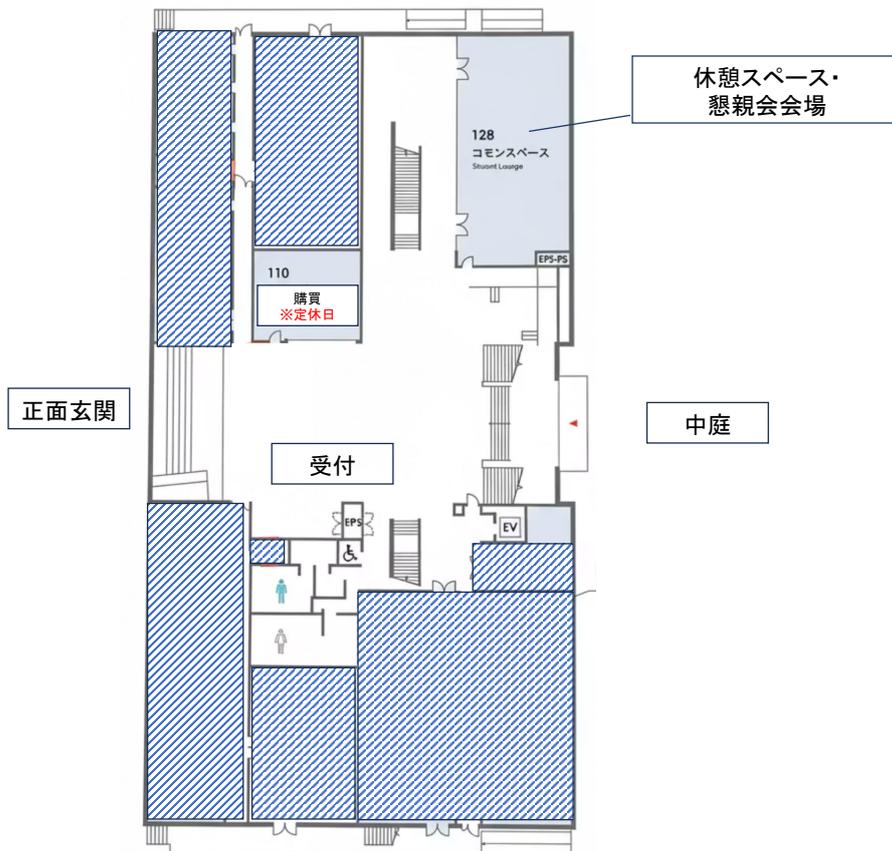
- ・会場ではeduromeが利用できます
- ・eduromeのゲストアカウントを配布しております。利用希望の方は受付にてお知らせください

会場図

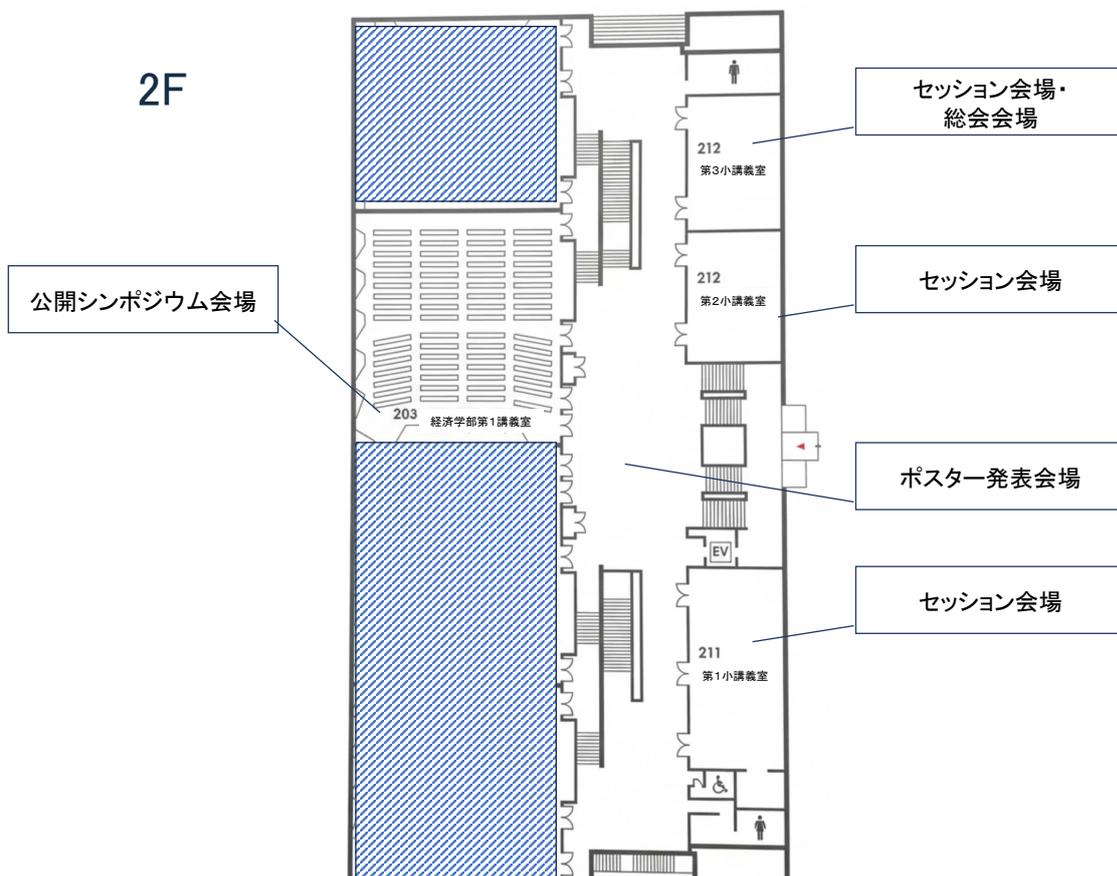


立入禁止エリア

1F



2F



会場周辺の施設情報

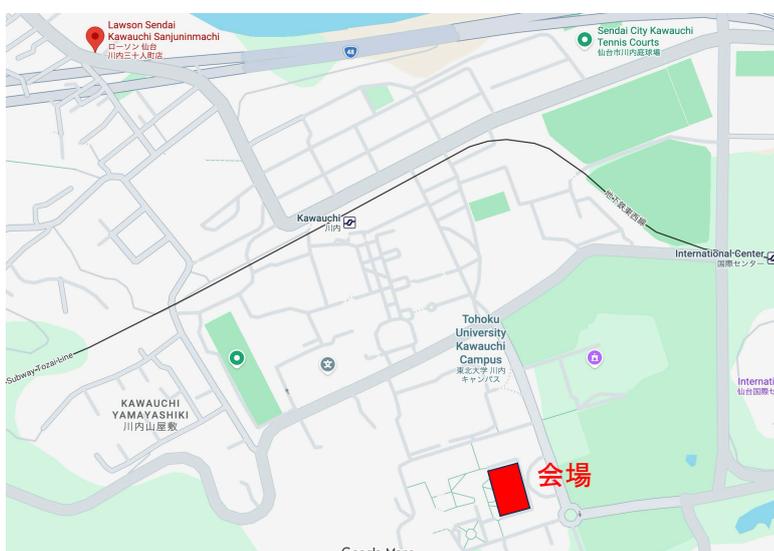
- ・昼食を入手できる店舗・時間が限られているため、参加登録時にお弁当を事前注文をするか、市街地で事前にご用意いただくことをお勧めします。
- ・会場周辺には複数台の自動販売機を設置しております。

※大学内の購買(川内キャンパス厚生会館 購買書籍店)は春季休暇のため休業予定

コンビニエンスストア

ローソン 川内三十人町店

会場より徒歩17分



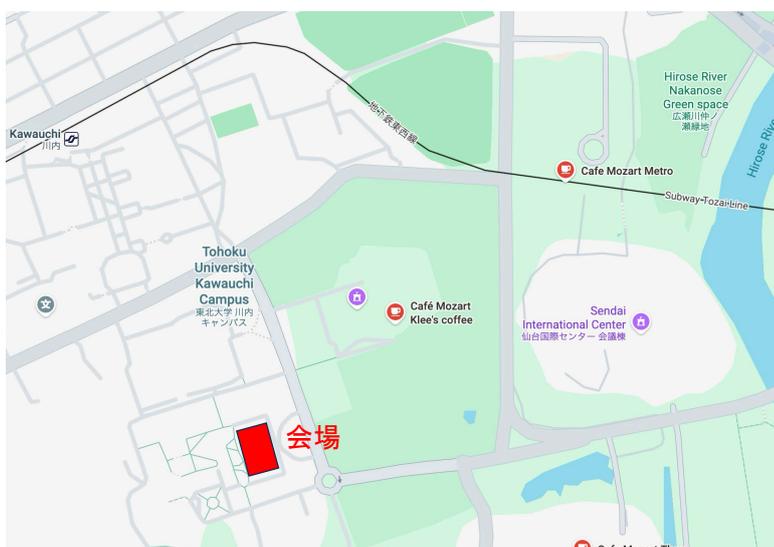
カフェ

カフェ モーツァルト・クレーズコーヒー

会場向かい、川内萩ホール内。

会場より徒歩3分

営業時間: 10:30~17:00



カフェ モーツァルト・メトロ

地下鉄国際センター駅2階。

会場より徒歩15分

営業時間: 10:00~17:00

災害時対応・避難経路

2025年12月に発生した青森県沖を震源とする地震以降、仙台では連日地震が続いております。本学においては耐震化を進めておりますが、2021年に発生した福島県沖地震の際には建物に損壊などの被害が生じた例もあります。現地に参加される皆様におかれましては、避難対応について事前にご確認いただくようお願い申し上げます。

地震発生時の対応

揺れを感じたら



机の下などに身を隠し身の安全を確保してください。

速やかに避難



開催校委員会・大会運営スタッフの誘導に従い、指定された避難場所へ速やかに移動します。

公共交通機関の確認

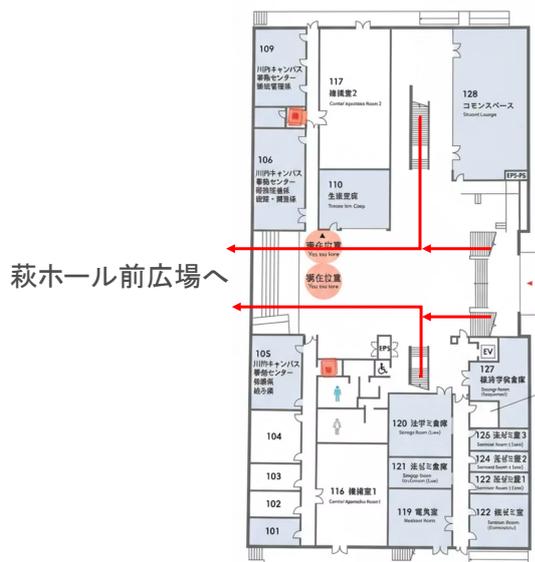
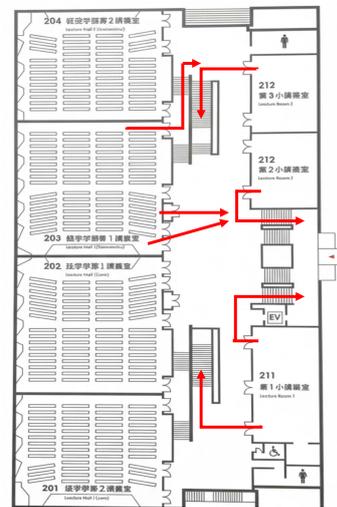


帰宅の経路の状況を確認してください。
大会運営委員会の指示に従い、帰宅準備または待機していただきます。



避難場所と避難経路

指定避難場所は会場の正面に位置する萩ホール前広場です。避難経路は下記の通り。



復興のこれまでとこれから ウェルビーイングと未来社会のデザイン

入場無料
要事前申込
3月13日〆切

2026年3月21日（土） 14:30～17:30

東北大学川内キャンパス・オンライン併用ハイブリッド開催

14:30 基調講演 増田 聡氏 帝京大学経済学部教授/東北大学大学院経済学研究科名誉教授

15:40 シンポジウム
モデレーター：西出優子 東北大学大学院経済学研究科教授



増田聡氏

帝京大学経済学部教授
東北大学大学院経済学研究科
名誉教授



李妍焱氏

駒澤大学文学部教授



久保田彩乃氏

一般社団法人ヴォイス・オブ・
フクシマ 代表理事
福島大学教育推進機構特任助教



齊藤祐輔氏

認定特定非営利活動法人底上げ
副理事長
宮城大学事業構想学群助教

日本社会関係学会第6回大会

参加方法の詳細はこちら



シンポジウム

参加登録はこちら



お問い合わせ：JASR2026日本社会関係学会第6回大会事務局 jasr2026sec@gmail.com

主催：日本社会関係学会

共催：東北大学大学院経済学研究科・情報科学研究科

基調講演

増田 聡氏 演題 「復興のこれまでとこれから ―ウェルビーイングと未来社会のデザイン」

帝京大学経済学部地域経済学科教授 / 東北大学クロスアポイントメント教授

群馬県生まれ、東京大学大学院修士・工学博士。三菱総研研究員、東北大学教養部講師・情報科学研究科助教授・経済学研究科教授を経て2024年度から現職(専門:地域計画)。(特活)とうほくPPP-PFI協会、(一財)東北圏地域づくりコンソーシアム等でも復興支援活動にあたる。分担共著に「Resident Evaluation of Reconstruction Challenges and Lessons Learned from the Great East Japan Earthquake: Recommendations for Reconstruction and Industrial Policies 12 Years after the Disaster」(Economies 12(7), 2024)、『東日本大震災復興研究Ⅶ 東日本大震災と原発事故は何を残したか:大震災・原発事故からの復興・復旧の先にある持続的発展のロードマップ』(晃洋書房, 2024)、『東日本大震災100の教訓 復興検証編』(クリエイツかもがわ, 2023)など。

パネリスト

李 妍焱氏

「市民社会の未来デザイン ―市民的コモンズをキーワードに」

駒澤大学文学部教授

中国の大学を卒業後1994年来日し、2000年に東北大学大学院文学研究科で博士号取得。2002年から駒澤大学文学部社会学科で教鞭を執る。テーマは「市民によるボトムアップな社会づくり」。2010年から「日中市民社会ネットワーク」を設立し、環境教育やオルタナティブな暮らし方などを中心に日中間で草の根の交流と連携に尽力。近年は世田谷の地域プロジェクトと連携しながら教育・研究活動を進めており、新著『市民的コモンズとは何か―理論と実践者との対話』(ミネルヴァ書房, 2025年)において、地域の市民たちによるコミングの仕組みを手がかりに、ボトムアップの社会づくりの未来デザインを描き出している。

久保田 彩乃氏

「原発事故の『記憶と責任の継承』―当事者世代と次世代による対話型ワークショップ実践事例から」

一般社団法人ヴォイス・オブ・フクシマ 代表理事 / 福島大学教育推進機構特任助教

福島県郡山市出身。2009年、秋田放送でラジオ番組の中継リポーターを務める。2011年7月、地元郡山市に戻り、コミュニティFMの運営や番組制作、富岡町臨時災害FM「おだがいさまFM」の運営などに携わる。同年12月より、福島県民の多様な声の発信とアーカイブを目的に一般社団法人ヴォイス・オブ・フクシマを設立。被災経験者への取材活動のほか、小中高校生を対象としたメディア制作・インタビュー取材を通じた地域探求学習支援にも参画。2019年から東北大学大学院情報科学研究科に在籍。2023年度から福島大学教育推進機構に着任し、学生らと被災地域のフィールドワークやアーカイブ活動に注力する。

齊藤 祐輔氏

「災害復興過程に関わる『よそ者・若者』のウェルビーイング―東日本大震災後の若者の語りに着目して」

認定特定非営利活動法人底上げ副理事長 / 宮城大学事業構想学群助教

東日本大震災を契機に宮城県気仙沼市へ移住し、復興支援活動を行う。その後、特定非営利活動法人底上げを設立し、地元の中高校生に向けた地域教育や若者のキャリア伴走支援、まちづくりの事業に携わる。現場で活動する一方、2022年に東北大学情報科学研究科に進学。2023年には宮城大学事業構想学群助教に着任し、若者のウェルビーイングやNPOを専門領域とした教育・研究活動にも従事する。現在は、人と社会のウェルビーイングに寄与することを目指し、実践と研究の往還に取り組む。

会場案内

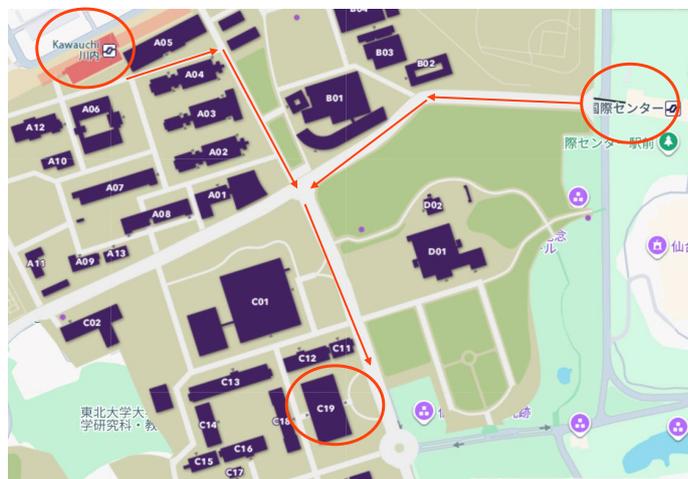
東北大学川内南キャンパス
文科系総合講義棟(C19)
経済学部第一講義室

Google Map



〒980-0862 宮城県仙台市青葉区川内27
アクセス

- 地下鉄東西線「川内駅」より徒歩5分
- 地下鉄東西線「国際センター駅」より徒歩10分



駐車場の提供はございません。公共交通機関をご利用ください。